



水戸市男女平等参画基本条例の啓発と
男女平等参画社会の形成と促進のために

WAVE 第23号

発行日：令和4年6月30日
発行：特定非営利活動法人
M・I・T・O 21
〒310-0851 水戸市千波 508-34
発行責任者：黒澤輝子

ごあいさつ

理事長 黒澤 輝子



新緑がまぶしい良き季節から真夏のような暑い日が続きます。皆様元気にお過ごしでしょうか。

令和2年からの新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下で、会員の皆様と顔を合わせることが出来ず、久しぶりに第14回通常総会を対面で開催できることに喜びを感じております。

さて水戸市と市民協働部男女平等参画課には日頃から大変お世話になり、感謝申し上げます。

毎年開催しておりますヒューマンライフシンポジウムは一昨年は中止、昨年はオンラインを駆使したりモートで開催いたしました。昨年は日本女性会議 2001 米と開催から20年、水戸市男女平等参画基本条例施行20周年と記念すべき年でした。この基本条例20周年を記念してのヒューマンライフシンポジウムは第1部を東京大学名誉教授で社会学者の上野千鶴子さんと大正大学の男性学の田中俊之さんを講師に基調講演をいただき、第2部では常磐大学の富田敬子学長にモデレーターをしていただき、3人でトークと格調高い内容で行われました。これには水戸市・茨城県はもとより国内外、オンラインは世界のネットワークで363名の方が視聴されました。

今年も MITO21 は水戸市男女平等参画課と協議を重ねながら、ヒューマンライフシンポジウム2022の企画運営を進めていくところです。昨年度から「あしたの学校」が本法人に加入され、事業推進に積極的に関わって下さっています。

今後オンライン会議など IT(インターネット)を活用して進めていくことも多くなります。会員の IT に対するアレルギーを少しでも緩和して、できることを増やしていくことがこれからの本法人の課題かと思えます。コロナの脅威はまだまだ厳しいようですが、会議室での会合のほかに屋外の研修を企画し、不安の壁を解消できる一年にできたらと思えます。

どうか本年も皆様にはご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1, ごあいさつ・・・1頁 | 3, アンケート結果・・・3頁 |
| 2, ヒューマンライフシンポジウム
2021・・・2頁 | 4, 水戸史跡探訪, インターネット
トラブル、編集後記・・・4頁 |

特 集

「水戸市男女平等参画基本条例施行 20 周年記念
水戸市男女平等参画推進月間事業

ヒューマンライフシンポジウム 2021

女と男 未来につなぐメッセージ



事前リハーサル風景

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、水戸市男女平等参画基本条例施行 20 周年記念事業の一環としてのシンポジウムを、どのような形式で開催するのが良いか思案の末、オンライン形式で実施する方向になりました。システムは分かっているが IT に弱い私たちは、設営の在り方から、視聴者への対応まで未知のことばかりで、手慣れた若い世代の方々の協力、まさに学・官・民一体の共同作業になり、新しい形での意義深い開催になりました。オンラインでシンポジウムを開催するということは、Webinar=Web+Seminar のホストとパネリストをつなぐ操作をするシステムを熟知して操作を行う担い手が必要であり、どの場所で、どんな機器を使用し、誰がとなると本法人の企画担当だけでは先に進めません。

インターネット環境の設定の経験もなく、水戸市男女平等参画課と本法人で県内のオンラインセミナーを請け負う業者の選考をして、株式会社しびくばわーに業務委託を行うことになりました。

今年度から正会員になってくださった「あしたの学校」の佐川代表と深谷さんが積極的に協力を

日 時：令和 3 年 9 月 20 日(月・祝)

場 所：常磐大学 地域連携センター

申し出てくれて、Webinar 契約を 9 月のシンポジウムの期間配信が可能になる手続きを行い、モデレーターをお願いした富田学長のご尽力により、常磐大学の地域連携センターの情報設備の整った教室を使わせていただくことになりました。

シンポジウムは「性差別をなくすためにあなたができること」をテーマに東京大学名誉教授、社会学者、女性学の第一人者上野千鶴子先生の講演。

最初は水戸においていただくと準備しておりましたが、コロナ禍の蔓延防止措置により、リモートでの実施が決定的になり、大正大学心理社会学部准教授で男性学研究者の田中俊之先生も都内から講話をいただく形になりました。

第 2 部のトークセッションの前には水戸市男女平等参画推進月間の標語・写真コンクールと功労者、功労団体、功労事業所(令和 2・3 年度)の受賞者の映像を収録して流しました。黒澤理事長も功労者として表彰されました。

上野先生には可視化された明確なデータに基づいた現状と課題を、田中先生は男性学から見えたジェンダーの課題、第 2 部では国内外でご活躍され郷里に帰ってこられた富田学長から「地方で考えるジェンダー問題」として、水戸市の状況と今後の課題である「誰も取り残さない」ダイバーシティ(多様性の尊重)とジェンダーの関係性、施策を推進するための課題は何か提示されました。



本番直前のカメラテスト！

シンポジウム当日には常磐大学・常磐短期大学の授業実施日にも関わらず、地域連携センターの統括の大貫様、中山様に大変お世話になりましたことを報告させていただきます。

オンライン準備担当の面々



3 時間に及ぶシンポジウムでしたが、隣接の部屋で視聴されていた高橋市長が、最後に上野先生の呼びかけで登場して、市政策の具現化の為、肌感覚でなく数値目標を作って取り組む姿勢でいることを示されました。

今回は聴衆の方々の息づかいを感じることができない形式での開催になりましたが、意識改革への風穴、熱風を受けたシンポジウムでした。

記：小林 弘子

ヒューマンライフシンポジウム 2021 のアンケート結果から

1. 今回が初めての参加が 75.4%であった。
2. シンポジウムの開催については「SNS で知った」が 27%で最も多かった。
3. 参加の動機については、「講師が理由」が約 4 割で最も多い。
4. 内容については約 9 割が「良かった」との評価
5. 参加者について

前は 2 %だった 2 0 代の参加者が 21.8%に引き上がった。常磐大学との連携開催の効果があつたと思われる。

その一方で、前回高かった 6 0 代 7 0 代の参加者は減少した。オンライン開催が原因かと思われる。

3 0 代は 9.1%であり、4 0 代 5 0 代の参加者割合に比べると前回と同様に低いため、課題と認識している。(水戸市男女平等参画課より)

「誰一人取り残さない」ジェンダー平等の実現に向かって歩みを続けていきたい。昨年、今年と国政選挙があり、婦人参政権を獲得して 76 年、市川房枝さんが「権利の上に眠るな」という言葉を残しました。日本は変わりますかと聞かれたら、私たちも変えてきたのだから、あなたたちも変えることができますと胸を張って言えるように、英知を集め、前に進んでいきましょう。事務局



水戸史跡探訪→ウォッチング+ウォーキング 11/25(木)

屋内での活動が制限される中、茨城県歴史館から偕楽園、猩々橋を渡って、桜山、モミジ谷を歩きました。様々な彩りの中、自然の息づかいを感じながら、静かな玉龍泉の絶え間なく沸き出でるいずみのほとばしりを眺めて、しばし深呼吸、命の洗われる思いを感じました。帰路には歴史館の中のカフェヒストリアで軽食と思いきいのコーヒーを味わいました。コロナ禍の引きこもり解消に今後も企画していきます。H.U

水戸市男女平等参画課主催：令和3年7月21日(水)『オンライン会議』講座【Zoom 基礎編】，令和4年2月10日(木)『大人のための情報モラル講座』が開催されました。パソコン、タブレットを使用したリモートなどで合計27名が参加しました。インターネットやメディアリテラシーは女性が苦手と思われがちですが、今や必要不可欠な時代を迎えています。これからもやさしく分かりやすい講座に参加するなど情報難民にならぬよう、できることを増やしていきましょう。

インターネットのトラブルにあわないために(水戸市消費生活センターから)

- ①知らない相手からのメールは開かずに削除する
- ②怪しいサイトに近づいたり，むやみに広告やURLをクリックしたりしないようにする
- ③身に覚えのない請求には応じない。脅し文句があっても，それは詐欺の手口なので無視する
- ④インターネット通販を利用するときは，販売事業者の住所や連絡先，返品特約についてもしっかり確認する
- ⑤携帯電話やインターネットの契約は，契約の内容や解約条件，割引の適用期間や毎月請求される金額を確認する

困ったとき，不安なときは水戸市消費生活センター ☎029-226-4194

消費者ホットライン

☎188（イヤヤ！） =最寄りの消費生活センターにつながります

高校生のトラブル懸念

成人年齢改正法が令和4年4月1日から施行され、18,19歳が大人の仲間入りとなった。親の同意なしで様々な契約を結ぶことができるが、若者のインターネット依存はシニア層をはるかに超えてトラブルに巻き込まれることも多いのではないかと、悪質商法の標的にされたり、知らないうちに犯罪に手を染めてしまわないかと心配です。深みにはまる前に消費生活センターに相談するよう、我々の立場で痛い目に合わないよう注意喚起していきたい。

編集後記：新型コロナ感染症の影響で本法人の中心事業ヒューマンライフシンポジウムを企画運営することがこの2年間で大きく変わりました。Zoomによるリモート会議の方法を学び、マスク越しで会話は少なめにしてコミュニケーションをはかり開催した9月のシンポジウムの一端をお届けします。これが活動のすべてではありませんが、一読ください。事務局